



巴太鼓

和太鼓といえば大人数の編成をイメージしますが、巴太鼓はその名のとおり3人編成。曲はすべてオリジナルで、リズムとスピードをコンセプトに普通の和太鼓の曲とは違い、早いテンポの曲を主体に演奏しています。その曲調から特に若い人に好評です。衣装も動きやすいジーパンにTシャツとほかにはない要素を持っています。
問) 柿本裕さん(二宮) ☎090-8360-7693

二宮竜神太鼓

地元の青壮年が中心となって発足。高野神社を中心に地域を盛り上げていくと15人で活動しています。最初は太鼓だけでしたが、笛や鐘などを取り入れて演奏も充実してきました。大阪のイベントに出演するなど県外での出演も行っています。

練習日 毎週木曜日
問) 畑達郎さん(二宮) ☎28-4556



久米仙人太鼓

宮部音頭や中北音頭など、地元の古い踊り歌と太鼓を復活させようと、2年間ほど津山鶴丸太鼓さんの指導を受け、平成7年から「久米仙人太鼓」として活動を開始。現在、18歳から75歳までの会員15人で久米地域を主体に活動しています。

練習日 毎週月曜日
問) 國米茂行さん(中北下) ☎57-9035



名前の由来は？

結成時のメンバーが、解散した「鶴山太鼓」に所属していたため、その名を元に「桜」を付け加えました。鶴山公園の桜は全国に誇れるものだからね。

演奏の特徴は？

自由度のある演奏形式です。少人数でも大人数でも対応でき、またメンバーが変わっても柔軟に対応できるようにしています。たたき手のアドリブを交えたソロを始め、20人いるメンバーの個性を生かした演奏も特徴です。特に子どもは自分の力を発揮しやすいと思います。この自

松岡一夫さん(大田) ☎27-2100

鶴山桜太鼓



練習日 毎週水曜日

今後の目標は？

近々の目標としては、6月2日(土)、3日(日)の「夏彩和太鼓フェスティバル」を

由なスタイルは、洋楽のバンド経験者が多いことも影響しているのかもしれませんが。昨年はドイツの吹奏楽団を招待し共演したそうです。空手やロックなども共演してきました。ジャンルを超えた演奏は私たちの持ち味。和太鼓の音圧には説得力があります。ここを卒業した坂本雅幸さん(油木下出身)が今、プロとして活躍されています。

津山が生んだ和太鼓プレイヤー
坂本雅幸が鼓童の一員として凱旋！

市民芸術劇場第82回公演
鼓童 ワン・アース・ツアー
津山公演

とき 6月20日(水) 午後6時30分開演
ところ 津山文化センター
入場料 S席4,500円、A席3,500円
問い合わせ先 津山文化振興財団 ☎24-0201



津山鶴丸太鼓

河中多喜男さん(小原) ☎22-5870

今年の津山さくらまつりでも和太鼓は祭りを演出。津山鶴丸太鼓と鶴山桜太鼓は、期間中4回のステージを行い、観客を沸かせました。

大鼓の魅力の一つ。器用でなくとも、こつこつと練習すれば必ずできます。そうやって頑張ってきたメンバーが顔をそろえています。私たちの場合、ウサギと亀でなぞらえるなら、どちらかという亀ですね。

河中さんにとって和太鼓とは？
何とも不思議な楽器です。和太鼓の音は胎児が母親のお腹にいる時に聞いていた音と非常によく似ているそうです。以前津山文化センターで演奏した時に、大音響の中で赤ちゃんがスヤスヤと寝ていたと聞いて驚きました。本能的に懐かしさや安んじさせる、まさに世界に通じる楽器なのかもしれません。

津山鶴丸太鼓の生い立ちとは？
かつて、県内でも名の知れた和太鼓グループ「鶴山太鼓」の解散後、元メンバーで作った同好会が母体となりました。今年で19年目で、津山さくらまつりを始め市内のイベントのほか県外を含め年間40〜50回出演しています。メンバーは小学校3年生から60歳近くまでの24人で、どういわけか、当初から半分が女性です。男性にはない持ち味が出てくると思います。
和太鼓の魅力は？
「誰もが挑戦できる」これが和太鼓の魅力の一つ。器用でなくとも、こつこつと練習すれば必ずできます。そうやって頑張ってきたメンバーが顔をそろえています。私たちの場合、ウサギと亀でなぞらえるなら、どちらかという亀ですね。

演奏の特徴は？
たたき手に必要なのは、集中力、礼節、そして何よりもメンバーの「和」です。これは年齢や性別に関係なく、子どもであっても同じ。その結果として皆が1つになって演奏しています。そのほか、所作(立ち振る舞い)を合わせることも大切で、太鼓の音だけでなく1人ひとりの動きを合わせることも、観る人に感動を与えられると思います。それだけに、演奏中は真剣に集中します。時々「笑顔でたたきばいいのに」と言われるのですが、なかなか...

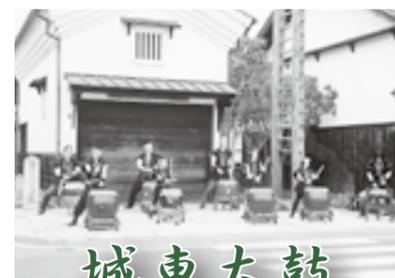


練習日 毎週日、水曜日

風神太鼓

広戸神社の風儀祭に参加したことをきっかけに発足しました。当初は大人ばかりでしたが、平成6年からは勝北中学校の子どもたちを中心とした活動を行っています。メンバー12人でふるさと祭りや納涼祭、また勝田郡のグループとの交流も盛んです。

練習日 毎週火、土曜日
問) 藤田昇さん(大岩) ☎36-6351



城東太鼓

毎年11月に城東地区で行われる祭り「城東むかし町」を盛り上げようと10年前に発足。当初は有志が集まってたいていましたが、4年前から知的障害を持つ5人の子どもたちをメンバーに加え13人で演奏しています。障害のため、なかなか曲を覚えられないのですが、急がずゆっくりと体で覚え、2年越しで本番に臨んでいます。ちなみに本番で使う太鼓はすべて手づくりです。

練習日 月2回
問) 朝日実さん(上之町) ☎22-3878

三宝荒神太鼓

その名の由来は下高倉西の「三宝荒神社」。神事で「奉納太鼓」も演奏していますが、毎年久世で行われる和太鼓フェスティバルのほか市内各地のイベントにも参加しています。演奏曲目はオリジナルのみ。地元町内会にも支えられ、発足してちょうど10年、メンバー10人で頑張っています。

練習日 毎週月、金曜日
問) 古元克典さん(下高倉西) ☎090-1681-6565

